

## 令和3年度 領域創成研究プログラムの公募

学際科学フロンティア研究所長  
早瀬敏幸

学際科学フロンティア研究所は、学問の枠を越えた基礎的な研究課題を意識的、組織的に取り上げて育成発展させることを目標の一つとしています。青葉山地区にある実験棟には物理、化学、生物の各種実験室を置き、基本的な実験設備及び装置を備えて多岐にわたる学際的研究の要望に応えています。

当研究所では、重点領域として設定した(1)物質材料・エネルギー、(2)生命・環境、(3)情報・システム、(4)デバイス・テクノロジー、(5)人間・社会、(6)先端基礎科学の6領域の先導(萌芽)的分野横断研究を「領域創成研究プログラム」として支援するため、研究テーマを学内公募いたします。応募された提案は本所運営会議で審議し、採択いたします。

## 応募要項

1. 研究形態  
本学の**3部局以上**の複数部局を含む研究組織。ただし、学際科学フロンティア研究所  
教員は代表者としては申請できません(分担者としては可)。
2. 研究内容  
実施可能な先導的学際研究
3. 採択決定時期と研究期間  
令和3年6月下旬頃採択決定を行う予定です。また研究期間は最大2年度(令和5年3月31日まで)とします。
4. 支援内容  
支援研究費は**100万円/年**です。研究経費は審査の結果減額されることがあります。原則として居室・実験室は配当いたしません。各応募課題の要望によっては検討することもあります。(ただし、所内に該当する空スペースがある場合で申請面積は22m<sup>2</sup>以下。なおスペースの利用は規定により課金されます。)
5. 応募方法  
申請者(研究代表者)は、学際科学フロンティア研究所以外の東北大学の専任の助教、講師および准教授の方に限ります。特に若手研究者の応募を歓迎します。なお、代表者として複数の課題を申請することはできません。所定の申請書を用いて PDF ファイルを作成し、下記のグーグルフォームの URL から **令和 3年 4月 16日 (金) 午後5時** までにアップロードして下さい。  
  
URL: <https://forms.gle/PB7zCh2eLWuADEDd8>  
  
なお、当研究所のホームページ (<http://www.fris.tohoku.ac.jp/fris/index.html>) から申請書をダウンロードできます。
6. 採択件数  
**総数5件以内**。
7. 選考  
運営会議で審議し、採択します。
8. 報告  
採択されたテーマに対しては、期間内および終了後の成果発信または展開についてフォローを行います。研究期間内は年度ごとに成果報告会で発表を行っていただくとともに、成果報告書(成果報告会概要集)の提出が義務付けられます。なお、成果の公表にあたっては必ず「学際科学フロンティア研究所 領域創成研究プログラム」によるものであることを記してください。
9. 取扱い  
研究遂行および終了時の取り扱いは本研究所の規則に従っていただきます。また本

所を利用される場合、安全衛生管理、経費執行ならびにネットワーク管理などについても本学および本所にて実施運用しているすべての規則・指導に準拠して研究を実施していただきます。なお、これらを逸脱していると判断される場合には研究支援を中止させていただきます。

#### 10. その他

本公募に関しご不明な点は、学際科学フロンティア研究所企画部(才田教授、内線5752、[jsaida@fris.tohoku.ac.jp](mailto:jsaida@fris.tohoku.ac.jp) または鈴木特任准教授(URA) 内線4353、[suzukik@fris.tohoku.ac.jp](mailto:suzukik@fris.tohoku.ac.jp))までご照会ください。

### 申請書の書き方について

#### 1. 研究領域

6領域の中からいずれか一つを選び、○で囲んでください。(採択に際し、領域が変更になる可能性があります。)

#### 2. 研究組織

本学の3部局以上の複数部局を含む構成としてください。ただし代表者は学際科学フロンティア研究所以外の教員として下さい。これ以外に分担者であれば学外者を含んでも結構です。

#### 3. 研究経費

研究経費は備品、消耗品で本研究の遂行に必要なものに限り、**100万円/年**とします。  
(事務用品等の申請は原則として認められませんのでご注意ください。)。また審査の結果、減額されることもあります。またフィールドワークや治験等の研究遂行上必要な場合を除き、旅費、謝金としては使用できません。なお、そのような用途で使用しなければならない場合には申請書備考欄に理由を記載して下さい。

#### 4. 研究目的、計画・方法、本研究終了後に予想される研究展開、等

申請書は適宜字数を調節して2枚に収めてください。

#### 5. 居室や実験室を希望される場合、その理由を簡潔に備考欄に記載ください。ご希望にそえない場合もあります。ただし利用スペースは研究所規程によって課金されます。また代表者が申請研究課題に関連して競争的資金を獲得している場合も備考欄に記載下さい。

## 学際科学フロンティア研究所 領域創成研究プログラム申請書

研究課題名 (和英両方で記載)	(和文): (英文):		
領 域	(1)物質材料・エネルギー、(2)生命・健康、(3)情報・システム、(4)デバイス・テクノロジー、(5)人間・社会、(6)先端基礎科学		
研究代表者	所属・役職: 氏名(年齢) ( 才)		
1. 領域創成研究プログラムとしての目的と意義(研究課題の学際性についても記述下さい)			
研 究 組 織 (研究代表者及び研究分担者)			
氏 名(年齢)	所属研究機関・部局・役職・専門・E-mail		役 割 分 担
研究経費等 (研究費及び研究面積)			
	事 項	金額 (単位:千円)	研究スペース希望面積
1 年 目	備品		居 室 m <sup>2</sup>
	消耗品		実 験 室 m <sup>2</sup> (希望がある場合のみ22m <sup>2</sup> 以下)
2 年 目	備品		居 室 m <sup>2</sup>
	消耗品		実 験 室 m <sup>2</sup> (希望がある場合のみ22m <sup>2</sup> 以下)
	計		計 m <sup>2</sup>

2. 研究終了後に予定している研究展開について(本所他研究プログラム、外部資金への申請 等)

3. 研究計画・方法

4. 本所利用の必要性

5. 備考 (過去に代表者として領域創成研究を実施した場合には課題名と期間を明示、利用希望スペース、本課題に関連して申請者が獲得している外部資金、旅費・謝金等への使用理由)